

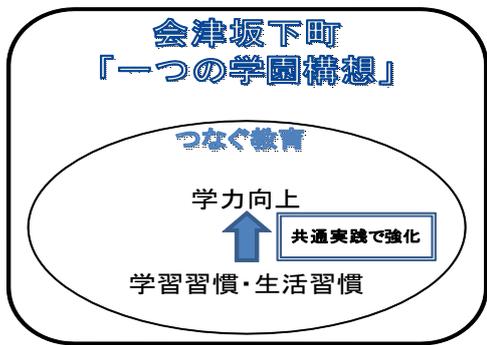
平成27年度 ふくしまから はじめよう。学力向上のための
「つなぐ教育」推進事業の推進地域の取組

拠点校名	会津坂下町立坂下中学校	
推進協力校名	会津坂下町立坂下南小学校	会津坂下町立坂下東小学校

会津坂下町 一つの学園構想

取組の内容

1 「つなぐ教育」のねらい



- ◇ 町の教育基本理念
生きる喜びを育む教育
- ◇ 町の従来の取組
「一つの学園構想」の強化
- ◇ 町内3校2園、関係機関・団体との連携強化
- ◇ 一貫性、共通性、継続性、で「育ち」と「学び」をつなぐ

2 指導力の向上とネットワーク作り

- (1) 授業充実のための取組の共通理解
会津坂下町「学びのスタイル」を作成し、各学校で授業実践する。
- (2) 校内授業研究会の相互参観
各学校・園で研究会予定表を作成し、町授業研究年間計画に集約。各学校・園、教育委員会で情報を共有し、計画的に授業参観を行う。
- (3) 町基礎学力向上推進会議授業研究会
9教科で授業を実施し、その後11部会を開催し、事後研究会を行う。
(12月8日 坂下中)
- (4) 各チーム会議の取組
 - ① 学力向上チーム
 - ② 家庭教育チーム
- (5) 研修の充実
 - ① QU講演会 (8月19日)
QU研修会 (9月30日坂下南小、11月12日坂下東小、12月3日坂下中)
 - ② 外部講師 (秋田県教育専門監による模擬授業研修会 1月15日坂下東小)

会津坂下町「学びのスタイル」

教科や学年、学習内容によって応用しながら実践します。

過程	学習活動・児童生徒の姿	指導のポイント
導入	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 課題の明確化 <ul style="list-style-type: none"> → 学習課題、学習のめあて(本時のゴール)をつつむ(何が、どのくらいできるよにならばふんぬか分かる) → 達成する喜びがあると感じ、意欲しよふとする態度がわく 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問いや学習意欲を引き出す教材提示や活動の工夫 ○ 「先生の教えたいこと」から「児童生徒の学びたいこと」へ ○ 学習課題・学習のめあての提示
見通す	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 課題に対する見通し(予想)をもつ <ul style="list-style-type: none"> → 予測し解決の方法や見通しを持つ(ゴールに向け、「何を」「どう」考えしていくのが分かる) ◎ 自力解決する <ul style="list-style-type: none"> → 既習事項を生かして考えていこうとする → 自分の考えを持つ(書く) → 考えの根拠を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見通しを持たせる手立ての工夫 <ul style="list-style-type: none"> → 既習事項の活用 等 ○ 自分の考えを持たせる時期の確保 ○ 個に応じた指導・支援 <ul style="list-style-type: none"> → 自力解決が早く終わった子どもへの指導 → 自力解決が十分な子どもへの支援 → その他の児童へまわす、意図的な机間指導 → 一人でできない場合は、困ったことを共有させたり、友達と交流させたりする。
見通す	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 学び合う <ul style="list-style-type: none"> ○ 考えを共有する <ul style="list-style-type: none"> → 自分の考えを述べながら友達や考えを聞いたり、意見を述べたりする。 → 思考過程や結果を共有する ○ 考えを吟味する <ul style="list-style-type: none"> → 自分や友達の考えの中からよりよいものを見出し、自分の力で納得させる ○ 教科によっては、適用問題を解く 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目的、内容、時間に合わせて形勢の工夫(ペア・小グループ、学級全体等) ○ パア・小グループ学習を機能させるための経験の積み重ね ○ 話し合いの視点の明確化 <ul style="list-style-type: none"> → 役割(考え)の正否 → 機軸の明確 → 考えをまとめる
見通す	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 学習の振り返りと態度の自覚 <ul style="list-style-type: none"> → 学習課題・学習のめあてに対して、自分の達成度・理解度を判断する → もっと学習したいことや新たな疑問を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ キーワードの提示 ○ 振り返りシート ○ 何を(内容)、どのように考え(思考過程)、そこから何を理解し(意味)、何を思い出したか(記憶)の喚起 ○ 友達と学ぶよさの実感 ○ 次時への意欲付け

小・中連携実践事項
これだけ行えば！

- ◎ 学習課題・学習のめあての明示
- ◎ 誰のチェックで、誰も、必教を要する
- ◎ 教師のコーディネイト
 - 思考を動かせる活動や時間により、考えをつなげる・広める・深める
 - 友達の考えやその過程を共有させる
 - 発表の場を設けて、もう一度整理させたり聞かせる
 - 意見の相違点を明確にする
 - 同じ意見の中での相違の相違点を吟味する
- ◎ 思考力を育てる構造的な板書
- ◎ 子ども間の思考の過程を共有
 - 色分け、矢印、吹き出し、アンダーライン等で思考の流れを可視化する
- ◎ 定とめる
 - 誰のチェックで、誰も、必教のめあてを達成
 - 「学習課題・学習のめあて」に当てはめて、自分の言葉で定とめさせる

家庭学習 ◎ 「授業の学びが生きる」「学習課題につながる」学習等で、授業と密接につなぐ

◎ 小・中・小学校全ての授業で実践

- (6) 各種会議の実施
- (7) 幼児・児童・生徒の交流
- (8) 出前授業の実施

中学校英語教員による小学校6年生の外国語活動への出前授業
(1月29日 坂下東小、2月4日 坂下南小)

3 学びのプラン作成、配付、活用



- 各幼稚園経営・運営ビジョン
- 各小学校
 - 「学習のスタンダード」「よい子の一日スタンダード」「家庭学習の手引き」「清掃スタンダード」
- 中学校
 - 「学習の手引き」「坂下中三原則」「授業に臨む5つの約束」「坂下中3S」

4 地域、家庭との連携

- (1) 地域との連携
 - ① 地域連携学習会
 - ② 地域連携講習会(11月6日坂下中)
 - 講師 聖光学院高等学校
 - 野球部監督 斎藤智也氏

ばんげっ子の生活・学習のやくそく「これだけは！」		
幼稚園	小学校	中学校
◇ 元来なあいさつができる子ども(あいさつ日本一を目指して) ◎ かるく ◎ つも ◎ ぬかに ◎ づける ◇ 話をよく聴ける子ども(聴き上手日本一を目指して)		
1 あいさつ 2 やくそく・きまりをまねる	【よい子の1日スタンダード】 1 あいさつ 2 あんげん 3 あとしまつ 4 約束を守る	【坂下中三原則】 1 「あいさつ」 2 「清潔」 3 「ことばづかい」
1 だけいのみみてせいけつ 2 さいごまでがんばる 3 あそぶと勉強 4 ばなしをきくときはしすかに 4 よいんじ	【学習のスタンダード】 1 時間になったら席につく 2 あいさつ 3 課題に全力で取り組む 4 よい姿勢 5 よい言葉	【授業に臨む5つの約束】 1 2分前出席 2 正しい態度 3 あいさつと礼 4 授業に集中 5 正しい言葉づかい
1 あとかたづけ 2 せいり・せいじん	【清掃スタンダード】 1 身支度 2 簡潔清掃 3 後片づけ	【坂下中3S】 1 清掃 2 身支度 3 簡潔清掃

- (2) 家庭との連携
 - ① ノーテレビ・ノーゲームタイム運動実施
 - ② 学びのプラン「家庭生活習慣のポイントこれだけは」
 - ③ 町生活状況調査の実施と結果の活用

成果 (○) と課題 (●)

- 校種間の連携が深まり、教職員同士の「学びあい」が充実した。
- 幼・小・中の11(12)年間を見通した、「一貫性」「共通性」「継続性」のある指導の意識が高まった。
- 「学びあう」授業の充実が図られた。
- 学校・家庭・地域が連携し、町ぐるみで取り組む雰囲気が高まった。
- 各種取組をとおして、教職員相互の信頼関係を一層深め、ネットワークをより強固なものにする。
- 取組内容の共通理解と「当たり前のことを当たり前にする」意識の定着を図る。
- 成果(連携のよさ)の情報発信の工夫を行う。

会津坂下町「一つの学習類型」取組の柱
「1基礎学力の定着・向上」
①学ぶ楽しさを実感する/「学びあう」授業の実践

会津坂下町「学びのスタイル」

教科や学年、学習内容によって応用しながら実践します。

会津坂下町基礎学力向上推進会議
会津坂下町教育委員会

過程	学習活動・児童生徒の姿	指導のポイント	小・中共通実践事項 これだけは！
導入	つかむ ◎ 課題の意識化 → 学習課題・学習のめあて（本時のゴール）をつかむ（何が、どのくらいできるようになればよいかが分かる） → 追究する価値があると感じ、追究しようとする意欲がわく	○ 問いや学習意欲を引き出す教材提示や活動の工夫 ○ 「先生の教えたいこと」から「児童生徒の学びたいこと」へ ○ 学習課題・学習のめあての提示	学習課題・学習のめあての明示 ● 青のチョークで、課題・めあてを囲む
	見通す ◎ 課題に対する見通し（予想）をもつ → 予測し解決の方法や見通しを持つ（ゴールに向け、「何を」「どう」考えていくのが分かる） 考える ◎ 自力解決する → 既習事項等を生かして考えていこうとする → 自分の考えを持つ（書く） → 考えの根拠を持つ	○ 見通しを持たせる手立ての工夫 ・ 既習事項の活用 等 ○ 自分の考えを持たせる時間の確保 ○ 個に応じた指導・支援 ・ 自力解決が早く終わった子どもへの指示 ・ 自力解決が不十分な子どもへの支援 ・ その後の授業へ生かす、意図的な机間指導 ・ 一人ではできない場合は、困ったことを共有させたり、友達と交流させたりする。	教師のコーディネート ● 思考を働かせる活動や発問により、考えをつなげる・広める・深める ・ 友達の考えやその続きを考えさせる ・ 発表の内容について、もう一度説明させたり書かせたりする ・ 意見の相違点を吟味する ・ 同じ意見の中の根拠の相違点を吟味する 等
展開	深める ◎ 学び合う ○ 考えを共有する → 自分の考えと比べながら友達の考えを聞いたり、意見を述べたりする。 → 思考過程や結果を共有する ○ 考えを吟味する → 自分や友達の考えの中からよりよいものを吟味し合い、自分の中で再構成する ◎ 教科によっては、適用問題を解く	○ 目的、内容、時間に合わせた形態の工夫（ペア・小グループ、学級全体等） ○ ペア・小グループ学習を機能させるための経験の積み重ね ○ 話合いの視点の明確化 ・ 意見（考え）の正否 ・ 根拠の適否 ・ 理由の適否 ○ 考えをまとめる	思考力を育てる構造的な板書 ● 子どもの思考の過程を残す ● 色分け、矢印、吹き出し、アンダーライン等で思考の流れを可視化する
	まとめる	◎ 学習の振り返りと変容の自覚 → 学習課題・学習のめあてに沿って、自分の言葉で振り返る → 自分の達成度・理解度を判断する → もっと学習したいことや新たな疑問を見つける	○ キーワードの提示 ○ 振り返り ・ 何を（内容）、どのように考え（思考過程）、そこから何を理解し（意味）、何を見いだしたか（価値）の実感 ・ 友達と学ぶよさの実感 ○ 次時への意欲付け
終末			

別紙資料

整合性

家庭学習

◎ 「授業の学びが生きる」「学習課題につながる」学習等で、**授業と宿題をつなぐ**

○ は小・中学校全ての授業で実践

町ぐるみで「育ち」と「学び」をつなぎ

確かな学力の向上を目指す

会津県下では、「一つの学園構想」の具現化に向け、幼稚園・小学校・中学校が、相互に連携しながら、「個性」「共通性」「連続性」のある11(12)年間を共通した「育ち」と「学び」をつなぐ教育に取り組んでいます。確かな学力の達成・向上に向け、具体的には、基本的な生活習慣の確立、質の高い授業(保育)の実施、読書と基礎学習の習慣化を目的とした取組です。福島県教育委員会から「ふくしまからはじめる」学力向上のための「つなぐ教育」推進事業(27年度)の指定を受け、一層の充実を図っています。

全ての幼稚園・小学校で「一つの学園構想」の3つの柱、12項目を意識した取組を推進しています!

- | | | |
|--|--|---|
| 1 基礎学力の定着・向上
① 学ぶ楽しさを実感する「学びあふ授業」の実践
② 特別支援教育の充実・強化
③ 教職員の仕事力(保育力・授業力)向上
④ 「基礎学力向上推進会議」の機能化 | 2 望ましい生活習慣(4つの習慣)づくり
① 規則正しい生活習慣づくり
② 家庭学習習慣づくり
③ 読書習慣づくり
④ あいさつ習慣づくり | 3 健康でたくましい心と体づくり
① 道徳教育の充実
② 食育の充実
③ 体力づくり
④ 健康教育の充実 |
|--|--|---|

11(12)年間のぶれない指導とおして、生活・学習規律を身に付ける～幼稚園・小学校・中学校が、それぞれなかりを意識して取り組んでいること～

	幼稚園	小学校	中学校
指導の基本	1 あいさつ ② 約束・きまりを守る	【よい子の1日スタンダード】 ① あいさつ ② あんぜん ③ あとしまつ ④ 約束を守る	【坂下中三原則】 ① 「あいさつ」 ② 「服装」 ③ 「ことばづかい」
	2 時間を意識した生活 ② 最後までやり遂げる ③ めりばりのある生活 遊び(動) ④ 読書・読み聞かせ(静) ⑤ 返事	【学習のスタンダード】 ① 時間になったら席につく ② あいさつ ③ 課題に全力で取り組む ④ よい姿勢 ⑤ よい返事	【授業に臨む5つの約束】 ① 2分前着席 ② 正しい服装 ③ あいさつと礼 ④ 授業に集中 ⑤ 正しい言葉づかい
	3 後片付け ② 整理整頓	【清掃スタンダード】 ① 身支度 ② 無言清掃 ③ 後片付け	【坂下中3S】 ① 清掃 ② 清潔 ③ 整理整頓

質の高い授業(保育)を目指し 幼稚園・小学校・中学校で取り組んでいること

夢と希望を持ち
自己に問いかけながら学び、行動できる15歳
他者を認め、切磋琢磨し、共感できる15歳

坂下中学校

- ① 思いやり学びあふ活動を活かし
- ② 自分の考えを持たせる手立て
- ③ 授業で伝え合う手立て
- ④ 読方・考え方を広げる手立てを工夫して、意欲的に学び、自分の思いを実現できる生徒を育てます。
- ⑤ 「学習の手引帳」を基本にして、自律した学び方を指導します。



坂下小学校

- ① 学ぶ楽しさを実感する「学びあふ」授業を通して
- ② スパイクな指導
- ③ 様々な算数的活動を
- ④ 評価を生かす指導を実施し、基礎基本を確実に身に付けさせ、自分の考えを豊かに表現できる児童を育てます。
- ⑤ 「学習スタンダード」【上手な話し方・聞き方】を基本にして学び方を指導します。



坂下小学校

- ① 伝え合い、学びあふ活動を通して
- ② 自分の考えをもたせる手立て
- ③ 活発な話し合いをする手立て
- ④ 学び合ったことから自分の高まりを自覚させる手立てを工夫し、自分の考えを自分の言葉で表現し合い、考えを広げたり深めたりすることができる児童を育てます。
- ⑤ 「学習のスタンダード」【話し方・聞き方】をもとに、望ましい学び方を指導します。



坂下幼稚園

- ① 元気いっぱい、思いやりよく学ぶ活動を通して
- ② 教師や友だちと一緒に感動体験させる手立て
- ③ 思いを言葉で伝え合い、遊びを共有する手立て
- ④ 話し合い、工夫し、自ら考えを表現する手立て(失敗は成功のもと)を工夫して、自己を表現し、進んで楽しく活動できる子どもを育てます。



ばんげっ子の生活・学習のやくそく「これだけは！」

教室掲示用

	幼稚園	小学校	中学校
	◇ 元気なあいさつができる子ども(あいさつ日本一を目指して) ① かるく ② つも ③ きに ④ づける		
	◇ 話をよく聴ける子ども(聴き上手日本一を目指して)		
約束	1 あいさつ 2 やくそく・きまりを守る	【よい子の1日スタンダード】 ① あいさつ ② あんぜん ③ あとしまつ ④ 約束を守る	【坂下中三原則】 1 「あいさつ」 2 「服装」 3 「ことばづかい」
	1 とけいをみてせいかつ 2 さいごまでがんばる 3 あそぶときは げんきに はなしをさくときは しずかに 4 よいへんじ	【学習のスタンダード】 ① 時間になったら席につく ② あいさつ ③ 課題に全力で取り組む ④ よい姿勢 ⑤ よい返事	【授業に臨む5つの約束】 1 2分前着席 2 正しい服装 3 あいさつと礼 4 授業に集中 5 正しい言葉づかい
	1 あとかたづけ 2 せいり・せいとん	【清掃スタンダード】 ① 身支度 ② 無言清掃 ③ 後片付け	【坂下中3S】 1 清掃 2 清潔 3 整理整頓